

松戸市立博物館常設展示の一部改修についての答申の概要

○松戸市立博物館がめざす博物館像

- ・松戸ブランドの価値創出
- ・みんなが利用できる情報基盤の構築
- ・協働のまちづくりの担い手としての人材育成拠点

○具体的方策

- ・安全のための総合展示室の大規模改修とアクセスの改善を検討する。
- ・松戸市の歴史資源に関する学術的研究機関として、情報を整理し情報発信を強化する。
- ・子どもや外国人にもわかりやすい展示内容と展示解説に改善する。

一部リニューアルによる

「(仮称)こども歴史博物館」の展示構想

○めざす姿

- ・子どもたちが、松戸の歴史を発見できるような体験ができる、多くの幅広い年齢の方々が訪れる展示室とする。

○展示構想

- ・学習指導要領改訂に合わせた「主体的・対話的で深い学び」を実現すること。
- ・「体験型学習」による質の高い理解ができること。
- ・家庭教育・子育て支援のための施設としての役割があること。
- ・地域の教育力向上のためのツールとしての役割があること。
- ・「(仮称)こども歴史博物館」の設置実現に向けた基本方針及び基本計画の策定すること。

21世紀の森と広場を中心とした

「文化交流拠点」

実施・検討中の取組み

- ・3館連携会議→若手職員PJの交流事業提案
- ・アートピクニック事業の連携
- ・東駐車場、中央ロプロログ入口からのアクセスの改善（看板設置等）
- ・森のこども館連携企画「なりきり縄文人」講座
- ・企画展「こどもミュージアム」と「どんちやんぐりちゃん展」参加スタンプラリー
- ・聖徳大学学生ボランティアのイベント参加
- ・戸定歴史館との観覧連携 など・・・

総合計画・社会教育計画
などの
上位計画に合致

松戸市立博物館「リニューアル基本構想・基本計画の策定

①常設展示のリニューアル

②施設の長寿命化

博物館の今後の基本方針を示すとともに、
（仮称）こども歴史博物館の展示とリニューアルを目指す